

の助成制度も継続して実施してまいります。

●農林水産業の振興

農道整備につきましては、「地域農道舗装リフレッシュ事業」に対する要望が依然として強いいため、継続して実施してまいります。

シカ、猪等の有害鳥獣対策につきましては、捕獲班の高齢化が顕著になりつつあるため、後継者育成の観点から狩猟免許取得については、取得申請に必要な費用を助成してまいります。

●野菜等の生産拡大

J A 広島北部と連携して給水・加温設備を持つパイプハウス施設を平成23年度に整備し、産地化と販路の拡大を図ってまいります。

あわせて、耕作放棄地の解消を目的に、新しい事業として「耕作放棄地解消モデル事業」を創設いたしました。

農業後継者の育成支援につきましては、「農業後継者育成基金」により、安芸高田市内の高校卒業予定者、または、本市に住所を有する28歳以下の青年で、将来、農業を職業にすることを目的に「広島県立農業技術大学校」への入学希望者に対し、学費等の全面的な



支援と卒業後3年間の実務研修も支援してまいります。

●ふるさと応援の会の設立

安芸高田市の出身者やゆかりのある方々、また応援をいただける方々に呼びかけ、「安芸高田市ふるさと応援の会」を平成23年度中に設立してまいります。

本市の幅広い情報を広く市内外に発信する中で、本市の活性化に結び付けてまいりたいと考えております。是非、皆さんの応援をお願いいたします。

●畜産振興

牛の異常出産防止のためのワクチン接種費用の一部を助成するなど畜産農家の支援を実施してまいります。

●林業振興対策

「ひろしまの森づくり事業」を活用し、里山林整備や環境貢献林整備、間伐材利用対策事業などにも積極的に取り組むこととしております。

林道の入江―戸島線開設事業は、平成22年度に地権者からの施工同意が得られましたことから、平成23年度より実施設計及び一部工事に着手してまいります。

●水産業の振興

平成23年度は、水辺活用及び河川愛護啓発のイベントを漁業協同組合及び国土交通省と協働して実施することとしております。

●商工業の振興

新規卒業者をはじめとする雇用の確保に向け、地元企業への訪問など、ハローワークをはじめとする関係機関と連携してまいります。

また、進学などで市外に転出する若者に対して市内企業の就職情報やUターンのための情報を新規に提供してまいります。

●企業誘致の促進

平成22年度に大手農機具販売メーカーである「中国クボタ」の本社機能の移転に伴う本市への進出が

決定し、本年7月から本格稼働の予定です。

●観光・交流

平成23年度に新たな取り組みとして、神楽と毛利元就を中心とした「未来創造事業」により広く市内外に情報発信してまいりたいと考えております。

また、市内の「全産業による異業種交流と地域内消費市場の最大活用」をテーマに商工会を中心に開催予定の「安芸高田市産業フェア」（仮称）についても新規に支援してまいります。

●土師ダム周辺整備

老朽化した土師ダムサイクリング・ターミナルの建て替え整備に向け実施設計に着手してまいります。

以上、平成23年度予算の編成にあたりまして、私の所信の一端を申し述べ、施政方針とさせていただきます。

特集 未来へ向けて 光回線を整備します

光回線・光ファイバという言い方もしますが、みなさん一度はこの言葉を聞かれたことがあると思います。テレビのニュース、テレビコマーシャル、新聞、雑誌いろいろな機会に目や耳にすることがあると思います。市では、平成23年度、この光回線の整備をするための計画を立てようとしています。

多くのみなさんが、「難しいことは知らないけど、インターネットに関することなんじゃないの?」こんな感じではないでしょうか。詳しい方は、御自分で情報収集されよく御存じでしょうが、光回線、光ファイバに関する用語は意味がよく分からず、理解しにくいものです。それでも、この光回線が日々の生活の中でどのようなことに利用されているかは、知っていただきたいと思っています。

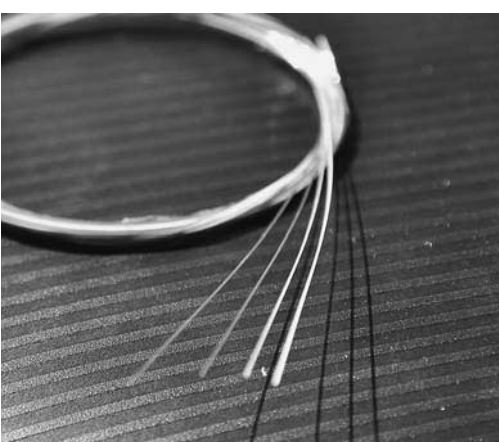
ということで、少し難しいですが、今回は、みなさんに「光回線・光ファイバ」のことを特集してみたいと思います。専門用語をできるだけ簡単な言葉にしていますので、少し正確ではない部分があることはご容赦ください。

まずは、光回線の利用でみなさんに一番身近なインターネットの話から始めます。

近年、普段の生活の中でもインターネットに関して良いこと、悪いこと、いろんな事を耳にされていると思います。利用されていない方にとっては「何のこと?」と思われると思います。

その前に、インターネットとはどういうものか、確認しましょう。

インターネットとは、世界のコンピュータをつなぎ、お互いに情報交換できるようにした巨大なネットワークのことです。この「つなぐ」方法にはいくつかの方式があり、光回線もそのうちのひとつです。



インターネットの環境はどんな感じなの？

現在、大きく分けて2つのインターネットを利用できる環境があります。

- ① 同軸ケーブルや光ファイバを活用した「有線」で利用できる方法
- ② 携帯電話などのように電波を活用して「無線」で利用できる方法

また、近年では、高価ではありませんが、一般利用者向けの衛星を利用したサービスもあります。インターネットを利用するにはこの①と②を活用するのが一般向けには主流となっており、これらを総称してネットワークと言われます。このネットワークを通じてインターネットを利用するのですが、利用するには機械が必要になります。この機械がパソコンや携帯電話などになります。最近ではこの機械にテレビを利用するケースも増えてきております。

てきております。

こうしてインターネットを利用するのですが、おそらく、利用されていない方には「そもそも何でインターネットがいるのか。」と思われる方も多いのではないかと思います。これらはひとりひとり考え方が異なるので、全てのみなさまに直接必要になるわけはありません。しかし、インターネットを活用したサービスや技術が知らない内に社会の様々なところで、利用され、どんどん普及していることは事実です。例えば、携帯電話。最初は高価で扱いにくく、ほとんどの方が利用していない状況でしたが、ここ十五年程度で持っただけでも珍しくない社会になってきました。この、いつの間にか必要になっていくところが非常に悩ましいところでもあります。

整備する目的ってなに？

整備する目的はこのネットワークを活用したみなさまの生活・文化の向上や、情報格差を解消することが大きな目的になります。県内や県外ではすでに、光ファイバ整備が進んでいます。

普及が益々加速していくと、選択する余地もなく使用しなければならぬ環境が生まれてきます。

市では、平成18年度にもNTT西日本へ広島県と共に補助金を出してインターネットの回線整備をいたしました。さらなる環境の変化が求められており、市としてもこのような環境への対応を進めていく必要性が出てきております。

「インターネットしないから光ファイバはいらない。」との意見もあり、光ファイバの整備には、賛否両論、様々な意見をいただいております。

しかし、将来に向けて投資をしなければますます情報の格差が生

じ、働く若い世代にとって、生活しにくい状況にもつながります。

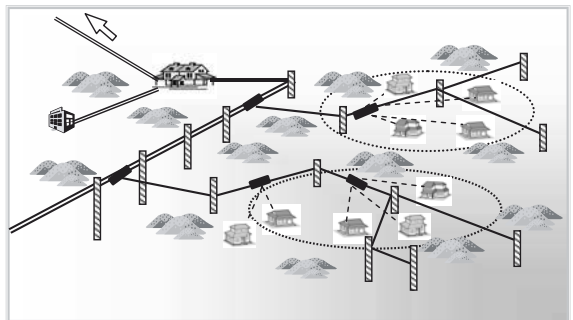
将来、光ファイバがない環境では、あらゆる情報格差が生じる可能性があります。実際にこれを定着させ便利と感じるにはそれなりに長い時間がかかります。早めに整備を実施してみんなが便利になる環境を創ることが重要です。

何がかわるの？

では、光ファイバを整備すると、何がかわるのでしょう。実は、既に光ファイバのネットワークを利用した様々な技術が皆様の生活の中にはあります。

何も直接にご自分でインターネットをしなくとも企業がこれを利用してコストの削減を図ることや手続きや申請など簡素で時間の短縮ができるなど、企業にとってのメリットが増すようになっていきます。

例えば、金融のATMや病院などの個人情報の管理、受発注が多



光回線で全域つなぐ計画です。



い工場などの商品管理などあらゆることに利用されています。その基盤として光ファイバは重要なものとなります。また、日常生活においても携帯電話をはじめとする様々な通信機器には、高速で大容量な情報を出し入れしたりすることが可能になりますので、今より通信環境やデータ通信の環境が現状より改善される可能性があります。



豆知識①！ 進化する携帯電話。

最近、画面をタッチして操作する携帯電話が出てきて、どうなっているのか分からない方も多いのではないのでしょうか。このような変化の大きな特徴は、通話するだけの電話ではなく、パソコンとしての機能がついているのが特徴になります。これまでのドコモのiモードやauのezweb機能とは異なり、幅広くインターネット上の情報を出し入れできるようになりました。ソフトバンクのiPhone（アイフォン）を代表とするスマートフォンと呼ばれる規格の機種が各社出てきており、円滑にサービスが提供されるには、その辺の田んぼや畑、道路に立っている携帯中継局まで光ファイバやマイクロ波といった高速・大容量伝送を可能とする基盤が整備される必要があります。これからは、光ファイバの必要性がもっと加速化するものと考えられています。

豆知識②！ 放送と通信

光ファイバを使ってご自宅へ提供するサービスには大きく分けて放送と通信のサービスがあります。放送とは家にアンテナなどを付けて電波を受信するテレビの放送やラジオなどです。ケーブルテレビも同じ仕組みでセンター局と呼ばれるところにアンテナがあってそれを有線で再送する仕組みになっています。平たく言えば大きな共同アンテナみたいな仕組みです。またここで表現している通信とはインターネットの事を指しております。インターネットを利用するには情報の出し入れをする際に、情報を信号に変えて伝送する仕組みとなっており、情報を処理するためには、心臓部に精密な機器が必要となります。この技術で音声や画像、個人情報・遠隔地の情報の伝送を可能にしています。

■なぜ市で整備する計画なの？

「このような整備は民間企業が
行うはずだ。なぜ公費を使って整
備する計画を図るのか？」と思わ
れる方も多いと思います。

確かに民間企業が整備してサー
ビスを提供することが一番望まし
いのですが、民間企業では事業の
採算を計る上で独自に整備するの
は難しいという状況があります。
最近では近隣の自治体でも公費を
起用して整備をしている例があり
ます。本市においても企業への交
渉を図って参りましたが実際には
民間企業だけの整備は難しいの
が現状で、公費を起用して計画を
検討しております。

■計画しているサービスはど のように利用できるの？

具体的にはこれから調整を図っ
て詳細な内容は決めていく予定と
なっています。しかし、前述のと
おりどのお宅におきましても、イ

ンターネットを利用できる環境を
提供することにつきましては、必
須のことと考えております。

■計画している整備では地デ ジは視聴できるの？

現段階の計画では、公設民営方
式で安芸高田市が工事して民間の
企業へ貸し出す方法を検討してお
ります。放送の視聴ができるか否
かについては、貸し出す企業によ
り視聴できるかどうかが変わりま
す。

■「貸し出す企業（ＩＴ）」

光ファイバなどを利用してサー
ビスを提供する企業には、大きく
分けて二つあります。地デジを有
線で視聴する方法をケーブルテレ
ビ（CATV）と一般的には言わ
れております。当市の近隣の自治
体ではこの手法による整備を実施
して市で運営しているところや民
間でも運営されている企業が多数

あります。ケーブルテレビの特徴
につきましては、市独自の自主放
送番組やデータ放送を作成して皆
様のテレビへ配信するものや多チャ
ネルなどの何十チャンネルの放送
を配信するものなどの様々なサー
ビスを有料にて提供する企業があり
ます。もう一つは、最近コマースヤ
ルなどでよく目にする「フレッツ
光」や「メガ・エッグ」の名称で
サービスを提供されている、NT
T西日本や中国電力などの通信の
技術を活用してサービスを提供す
る企業です。

■計画の予定はいつ頃なの？

現計画では、平成23年度から設
計を始め、平成24年度から平成25
年度を整備計画と考えております。
詳細な計画につきましては今後、
十分な協議をいたしまして、進捗
していく予定になっております。

最後に！

このようなサービスや技術を利用されていない
方々にとっては大変わかりにくい内容であったと
思います。光回線やインターネットに関する高度
な技術は、日進月歩、変化を続けており、どの
ような技術を選択して整備実施を行うのが良いの
か難しいところでもあります。

また、この技術に関する整備には膨大な精密機
器の導入や市内全域に渡る大規模工事が必要とな
ります。費用面もかなりな額になることが予想さ
れます。

しかし、安芸高田市だけが、周りから取り残さ
れるということがないように、情報格差の解消を
目指し、先を見据えた将来性の高い情報網の整備
はどうしても必要です。

このたびの情報基盤整備の計画は、市内全域を
対象としていただいても、等しくブロードバンドサー
ビスを快適に利用できるよう整備するものです。
情報通信基盤の整備は、必要不可欠な事業であり、
若者定住や企業誘致などの手段として必要条件の
一つでもあります。

光ファイバを利用した情報通信網は、中山間地

に位置する当市の、地理的・空間的な問題点、時
間と距離の制約を克服できる道具としてとても有
望です。光回線の持つ潜在的な可能性、将来的な
活用能力は極めて、魅力的です。今後の地域の活
性化、ひいては、将来に展望のある安芸高田市が
創出されるよう整備を推進します。あまりインター
ネットやコンピュータなどに興味のない方も多
くいらっしゃると思いますが、生活に利便性の高
い基盤を検討していますので、ご理解のほどよろ
しくお願いいたします。

今後、計画に関することや、具体的な進展が
ありましたら、みなさまに広報紙などを通じてご
報告させていただきます。



豆知識③！ 進化するテレビ

地上デジタル放送を受信できる
方法として既存のアナログテレビ
にテレビチューナーを購入するか？
薄型のテレビを購入するか？迷わ
れている方もいらっしゃると思い
ます。最近の地上デジタル放送用
薄型テレビには、これまでのテレ
ビとは異なり、いろんな機能が備
わっています。その機能の一つと
して、インターネットのサービス
を利用できるLAN（ラン）ケー
ブルと呼ばれる線を差し込む口が
備わっている機種があります。

「インターネットはパソコンが
必要では？」と思われる方が
多いと思いますが、将来的にはご
自宅のテレビでインターネット上
の様々なサービスを利用できるこ
とが期待されております。そのサー
ビスの中に、最近耳にするIPT

V（アイビーテレビ）というサー
ビスがあります。これは、インター
ネットから配信される動画や音声
をテレビで見ることが出来るサー
ビスです。ここでは、今ご覧のテ
レビ番組以外にも多くのチャンネル
を見ることができたり専門的な番
組も見ることができます。

この他にもインターネットをテ
レビにつなげることで、テレビか
らの双方向のサービスや通話、知
りたい情報などが取得できるなど
多くの幅広いサービスが期待され
ます。

残念な事に有料なのですが、い
ろんな情報を生活に馴染んでいる
テレビからインターネットを操作
できるようになれば、単純にテレ
ビをつけてそれを見るだけでなく、
家族からのメールやテレビ電話み
たいな機能が普及するかもしれま
せん。